



我孫子市電算システム包括委託契約における違約金の負担額、導入事業者選定委員会の選定方法について意見が集中しました。

〔※1〕基本構想

市のまちづくりの最も基本となる計画で将来のあるべき姿を示す「我孫子市第三次総合計画」を構成する三つの計画の一つ。我孫子市のめざす将来のまちの姿を明らかにし、その実現に向けた行財政運営の目標と基本的方向を示すもの。基本構想に加え、基本計画と実施計画で「我孫子市第三次総合計画」を構成する。

〔※2〕都市計画マスタープラン

都市計画法第十八条の二により定めるもので、基本構想に示された将来都市像の実現に向けて、都市整備の方針を定め、今後の都市づくりを総合的に進めていくこととするもの。

○請願(地方自治法百二十四条)としては「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願が挙げられ、全員賛成で採択されました。

○議員から五つの発議案が提出され全て採択されました。主なものは次のとおりです。

- ①生活保護制度の国庫負担の拡充を求める意見書
- ②手賀沼浄化のためのヘドロの浚渫の再開を求める意見書
- ③容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書

宏の二月議会代表質問  
〈代表質問の骨子〉

私の属する会派「あびこ二十」を代表して質問を行いました。一月の選挙に当選し、二期目の任期をスタートした星野市長の施政方針に関連して、「あびこらしさを活かした元気で活力あるまちづくり」と「行財政改革」という二つの観点で、震災の前日にあたる三月十日に質問と提言を行いました。質問と提言概要は、以下のとおりです。

I あびこらしさを活かした元気で活力あるまちづくり

- ・基本構想の見直しについて(地域コミュニティの再構築)
- ・相島芸術文化村の保存と活用
- ・手賀沼親水広場の委譲問題
- ・農業の振興(拠点施設、学校給食へ我孫子産、野菜使用、振興地域整備計画の見直し)

II 行財政改革

- ・公金徴収体制の一元化(債権回収室〔※〕の概要)
- ・どうするポスト市民会館(我孫子市の単独館の必要性)

〔※〕詳細は別途、議会日より、我孫子市のHP等をご参照下さい

〔※〕債権回収室で回収対象とする債権は、滞納された市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、保育園保育料、下水道受益者負担金及び下水道使用料の七種類。



〈質疑応答の要約〉

◆地域コミュニティの再構築◆

宏 地域コミュニティの再構築が急務となっている。再構築に向けての市のビジョンは？

市長 市民一人一人が地域に目を向けていく意識を高め、市民にとって身近な自治会など地域の多様な主体と連携し、地域に合ったコミュニティづくりを進めたい。

宏 平成二十二年度に十館目の我孫子北近隣センターが整備され、湖北北地区を残すのみとなった。十一館目の今後についての考えは？

市長 湖北地区のまちづくりの活性化につなげていく為にも、整備計画の十一館目として位置づけられている湖北北近隣センターの整備は必要と考える。

◆相島芸術文化村◆

宏 相島芸術文化村は市の東側地区を代表する貴重な文化財である。市が管理し保存する場合、移譲条件等で今後に憂いがある場合は、大きな禍根を残さず問題が発生しないようにすべきと考えるが？

教育長 無償譲渡に関しては、井上家と市が十分に協議を重ね、双方とも疑義なく事務を進めることが必要である。誤解が生じないよう課題に対して慎重に協議を進めていく。

◆手賀沼親水広場◆

宏 千葉県から市へ移譲の話がある手賀沼親水広場は、活用によっては市民の宝物になる施設である。市の活用方法は？

環境経済部長 例えば鳥と水の交流ゾーンとして鳥の博物館との一体利用や朝市を初め各種イベント等により手賀沼湖畔にぎわいの向上等が考えられる。

◆農業振興◆

宏 農産物アンテナショップの経営主体を農業者主体の団体へ移行する準備を進めているが、具体的にはどのような団体なのか。市はどのような形で経営にかかわるのか？

環境経済部長 団体の形態は現時点では決定していない。法人設立準備会が三月一日に発足し、千葉県農業会議などと相談し決定する。なお、市は直接経営にかかわらない。

宏 学校給食への我孫子産野菜の使用は、今年三月までですべての小中学校で導入されそうだが、さらに充実させるための具体的なプランは？

教育総務部長 給食に使う野菜の品目と量を的確に把握し、生産者に協力を得ながら、使用品目、回数を増やしたい。

◆公金徴収体制一元化◆

宏 公金徴収体制の一元化を図るため、債権回収室を収税課

内に設置するとある。回収で最も注意をしなければならぬのは、払えない人と、払えるのに払わない人の見極めだと考えるが、この見極めに関する市の考え方は？

**副市長** 財産調査だけでなく、生活実態の調査を行いながら慎重に判断する。滞納者の生活再建や債務整理に向けた取り組みを行うことも大切と考え、生活保護担当や消費生活担当などと連携していく。

◆ポスト市民会館◆

**宏** 新文化ホールの具体的な建設手順等を考えるとき、我孫子市民にとって使い勝手のよいアクセスマンで両市の理解が得られやすい建設場所の選定がポイントと考えるが？

**市長** 建設場所はアクセス面など両市の市民の理解が得られやすいことなどを考慮し、柔軟に検討したい。今の柏市民文化会館の場所となった場合は、無理と判断している。

**宏** 新文化ホールの柏市との共同設置が困難になった場合、我孫子市単独で早期に建設に取り組みべきと考えるがどうか？

**市長**

共同設置が困難になった場合、単独で文化会館の建設について検討していく。



宏はいつ考える！

■震災復興と日本人「分かち合い」と「精いつばいの元氣」

今回の大震災は地震、津波、原発事故というかつて経験したことのない複合災害であり、未曾有の国難といえるものです。今後の復興への一手一手が日本の未来を左右する大事な選択となります。特に政治家の責務、リーダーシップが今、強く求められていると思っております。日本人一人ひとりには、冷静に対処することとともに、大きな犠牲が伴う困難に立ち向かう勇気や、困難に直面した人を支援する優しさ・お互い様の気持ちなどが求められています。そして、そのことが被災地を含めた全国で共有されつつあると感じています。今回の震災復興は、日本人の誇りと自信を取り戻すための、長く、厳しい、そして苦しい道のりでもあります。そこに人がいる限り必ずや成し遂げられるものと信じています。その中で、今、私たちが身近にできることの一つは、「委縮被害を拡大させない」ことかもしれません。被災地の惨状や物資の不足を思う時、華美な祭りやイベントを控え、被災者の悲しみに思いを馳せるとともに、不要不急の消費を控えることは、「分かち合い」という大変尊い精神の表れであると思えます。しかし、一方で、経済を含む日常生活を停滞させず、活性化させることも重要です。極端な委縮

はかえって被災地域の復興を遅らせる懸念さえあります。復興段階を考慮しつつも、委縮せず様々な活動を通じて、未来への希望につなげていくことも大事ではないかと思っております。その一つが、選抜高校野球の開催と甲子園球場に響き渡った開会式の宣誓。涙が出ました。「人は、仲間を支えられることのできる大きな困難を乗り越えることができる」と信じています。私たちが今できること。それはこの大会を精いつばいの元氣を出して戦うことです。がんばろう！日本。」そうです！負けるな！日本。素晴らしい国、日本を再度創造するために、みんなでスクラムを組んで、前を向いて歩き始めることが必要なんだと思っています。

■計画停電時における成田線のダイヤ編成を問う！

東京電力の「計画停電」を機に、成田線の運行本数の大幅削減が行われました。国難を皆で乗り切るための節電や計画停電、そして首都圏機能を維持する為の交通重点政策は理解していただく必要があります。しかし、成田線での運行本数の大幅削減は、普段から運行本数が少ないこともあり、他の路線に比べて著しいサービス低下となり、利用者への日常生活に大きな影響を与えました。三月下旬の段階でさえ、県内を含む首都圏のほとんどの線区では六十〜百%の運行率を維持しているのに対して、成田

線は五十%に低下し、通常ダイヤで上り・下り各四十本/日の運行であったものが各二十本に削減されてしまいました。一時は、帰宅時間を含む特定の時間帯に六時間以上の運行空白時間が設けられることもありました。このJRの対応には困惑せざるを得ないとともに、到底理解できないものではありませんでした。加えて、日々変わるダイヤは、当日の早朝に各駅に掲示されるのみでHPにも掲載はなされなればかりか、その気配もないまま。そこで、市の職員が、毎早朝JRのダイヤを市のHPにアップして更新することにさえなったのです。私は、計画停電時における成田線の不合理なダイヤ編成に対して、一貫してJRに異を唱え、市を通じた働き掛けを強く行いました。結果、その住民の強い思いが届いたことや電力事情の緩和もあり、改善に向かいました。しかし、夏場は、今以上の電力逼迫が予想されます。それに伴い、同様の計画停電が実施されれば、沿線の住民は、再び通勤・通学に日々悩むようになりかねません。日本中の皆が頑張らねばならない時。成田線沿線住民も配慮した、合理的な運行体系の考慮を継続してJRに求めていかなければならないと求めています。



